

わたしのいち推し

夏の省エネ “除湿編”



8 ■ 除湿は換気や調湿素材の活用で ■

湿度70%以下・換気・通風・送風で、カビ防止を！

日本では、やはり木造家屋が主流。日本の風土に合った知恵が詰まった優れた建物を上手に住みこなしたいですね。

自然を積極的に取り入れる日本の木造家屋は、柱、壁は木材、屋根も雨水が自然と排出される勾配があります。そして、濡れ縁や床面からの掃き出し窓は庭との一体感を作り、心身も癒されます。内装も畳、襖、障子等木や紙が使われ、温湿度の調整役も果たしてくれています。

これらを上手に活かし、手入れをすると、直ぐに除湿機やエアコンに頼らずとも、思った以上に快適な空間が出来上がります。そしてカビ発生も抑えることが出来ます。

私も、温湿度計で確認しながら、換気、通風、送風を意識的にするようになりました。まず、倒れにくい家具は壁から少し離して通風を確保。外の湿度の方が低い時には窓を大きく開けて室内の空気を入れ替え、畳や押し入れには、時々扇風機で風を当てます。

これらで、驚くほどカラッとして、梅雨時もちょっと楽しくなってきました。(NM)



ご自宅の毎時、毎日、毎月の

電力消費量を電力購入会社のWebページ等で確認してみましょう

